



# 美作市議会 田村秀昭 活動報告

持続可能な美作を田村秀昭と創る会 No.6 令和4(2022)年10月1日発行 討議資料

前号で「起承転結」のお話を掲載しましたが、最後の文章で「結」とすべきを「桔」と誤植して印刷していました。田村のことだから何か意図があるのだらうと思ってくださった方もおいででしたが、残念ながら誤植です。大変申し訳ございませんでした。以後、このようなことがないように気を付けます。

なお、今議会の一般質問翌日から7日間議会を休みました。赤磐市の叔母の葬儀に出た際に感染したようで、コロナ陽性判定で自宅療養していました。その間、テレビで同僚議員の様子を視聴しながら、美作市の課題と解決方法についてじっくりと考える時間ができました。他自治体の事例をさらに研究しながら、美作市にとって何が一番良いのかを考えてゆきます。

発行:事務局 美作市湯郷 323-8 0868-72-5621 (TEL&FAX) hidetamuraexpert0528@yahoo.co.jp

## 議会活動等報告

- 7月13日 群馬県議会ジビエ関連視察への対応
- 7月22日 岡山県農村振興課・中国四国農政局訪問
- 7月31日 美作市誘致企業親睦ボーリング大会参加
- 7月8日 農林水産省農村プロデューサー研修傍聴
- 8月10日 吉備中央町農泊等視察
- 8月18日 岡山県市議会議員研修
- 8月19日 臨時議会、全員協議会
- 8月20日 くらしき未来K塾
- 8月22日 美作市上下水道事業経営審議会
- 8月23日 新庄村農泊ヒアリング
- 9月16日 新市庁舎・文化施設・防災公園特別委員会
- 9月17日 くらしき未来K塾

## 市民の皆様のご要望は「要望書」が基本となります。

- ① 某協同組合の事務所の土地・建物の美作市への寄付についての調整をさせていただきました。市内で土地の寄付の申出が多いようですが、市としても活用できる場所であれば受けるが、全ての申出を受けることは適わないものです。**寄付であっても市へは要望書を提出することが必要です。**
- ② 某地区の補助金の使途について相談を受け、市の当該部署等への事情調査等を行っています。地区二方のお申し出内容が相反しており、どちらも正しいという内容のようにも見えますが、**地区の話合いで解決**することしかできません。
- ③ 商業地の出入り口の信号敷設はできないという情報を頂戴したものの、県下には実例があります。交通量の問題もあるのですが、交通事故が頻発し、信号敷設を願う要望がある以上は**何度でも要望書を出して実現**する必要があります。諦めることなく「しつこい」と思われるくらいでなくては通らないものだと思います。営業の世界で、一度の訪問で成約できることはありません。
- ④ 湯郷に宿泊されるお客様から、**水が臭い**と言われることがあります。無頓着な私は気にならないのですが、敏感な方は顔を洗ったり、うがいをするのも嫌だと。この水で煮炊きした料理は食べられないと言われぬように、美味しい水を供給してもらうためには大掛かりな施設や工事が必要かもしれません。いずれにしても、**観光地の水はまさに命の水**です。皆様のご家庭の水は如何でしょう。また、後山の「愛の水」を活かす方法は。保健所の許可が下りないようです。

私の一般質問時に中学生2人の傍聴がありました。湯郷温泉観光協会へ仕事体験で来た生徒をわざわざお連れ下さいました。「**やっと、子どもたちに聴かせることができる議会になった**」と仰って下さる方が多くなり、光栄なことでした。お役に立てたのでしょうか？

## < 8月臨時議会 (19日) > 令和一般会計補正予算 (第4号) 緊急コロナ対策の追加分の補正。

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 @10万円  
雇用調整助成金の延長により、美作市独自の給付金の追加 (~9月)  
美作市原油・物価高騰対策事業者支援給付金 (全業種が対象)  
学校給食物価上昇分負担金 小・中学校1食あたり@30円 (年度末まで)  
\*依然として**収束が見られないコロナ禍**ですが、対策の**給付金等はそろそろ終息**に向かいます。経済の循環が急務の日本。自立を求められています。

9月6日 通告番号5番、一般質問2日目に下記5項目の質問をしました。

〈質問内容&答弁概略〉

① 美作市と姉妹都市縁組など国際交流を進める国、地域などについて

かつては旧町単位でオーストラリアやフランス・カナダ・オーストリアなどとの交流があった。今でも続いているのはカナダのサン・ヴァランタン市と25年目を迎えているのみ。新たにハワイ州カウアイ郡とハンガリー・ケストハイ市との姉妹都市縁組を前提に交流が生まれている。その他にもベトナムや台湾との交流もあり、美作市においても**共存共栄の世界**を創っていくとの答弁。かつてのように**児童・生徒が異文化に触れ、国際性を身に着けられるよう交流を模索**してゆくことになります。



② 美作市内在住の外国人の現状と課題について

市内に**20か国、400人強の外国籍の方が在住**。その半数が技能実習生で永住者も50人に及ぶ。労働力不足が課題となる中で、技能実習生を受け容れているが、日本の慣習に馴染めない、日本語修得が難しいなどの課題がある中で、美作市を選んでくださる在住外国人が安心して暮らせるまちづくりに腐心したいとの答弁。来年度には美作市スポーツ医療看護専門学校で外国人学生が学ぶ姿が見られる予定。ますます**外国人の定住化が予測**される中で、全国市長会を通して、**多文化共生社会の構築**に向けてワンストップで対応できる態勢づくりを国に要請してゆくことになります。

③ 新たな観光資源「農泊」への取組について

農泊は**農山漁村地域の中で宿泊**（古民家の一棟貸しやゲストハウスなど）・**食事・体験を提供できるシステム**を構築すること。美作市内には農水省の交付金を受けて、東粟倉と上山棚田団が事業推進している。観光政策所管では、「自然体験観光のPR強化」として山陽新聞9月7日紙面に掲載された通りで、市と湯郷温泉旅館協同組合共同開発の5プランが順調に販売されているという答弁があり、さらなるプラン増産とPR強化を図ってゆくというものでした。一方で、これら着地型商品を中心に美作市の観光を面で捕まえ、コロナ禍が生み出した**「密」を避ける新たな商品開発・流通・販売をする組織の構築が遅れている**ことを指摘し、今後の新たな観光への対応を求めました。民間主導です。

④ みどりの食料システムの実現について

**SDGSの農林水産業版**ともいえるみどりの食料システムが新法として施行され、日本においてもいよいよ**オーガニック農業へと舵を切る**こととなりました。欧米への追随ともいわれますが、環境と調和のとれた持続可能な食料システムを求められています。化学農薬の削減、家畜・養殖に使用される抗菌剤の販売の削減、有機農業の農地を大幅に拡大させるなど、**日本の農業の大転換**を求められています。市内でも実践する団体があり、岡山県の計画を参考にしながら美作市としての方針や目標を決めてゆくことになります。なお、生産者に税制や金融措置の支援が受けられるメリットがあります。

⑤ ふるさと納税の本年度の進捗状況について

**対前年138%の2億2千万円を目指し**、新規タイアップ事業者などを承認しています。美作市内の**体験プラン**などを扱う予定もあり、実際に**美作市においていただく**ことで移住定住のきっかけになるよう努めてゆきたいと。また、米の大暴



落の反省を生かして、市産米をいかに返礼品として、販売につなげるかを彩葉茶屋箕面彩都店と協議をしています。また、**企業版ふるさと納税**は令和6年度迄の施策ですが、東京の企業から2百万円と十万円、津山の企業から3百万円の寄附があり、二ト・引きこもり対策や防災・減災対策に使われます。今春市内で撮影された大谷健太郎監督作品映画のPRのための寄附を受けることも決まり、補正で予算化しました。

〈産業建設委員長報告〉 あいだ館に係る条例制定、市道認定および補正予算第5号の審査について報告をしました。本年春に撮影された映画のPRを補助する「ふるさと納税企業版」の用途についての審議は観光美作に有益なものです。

12月議会の一般質問について検討中です。「これを質せ」ということがあればお知らせください。おうかがいします。